

公安委員会定例会議(第16回)の開催状況

第1 日 時 令和6年6月26日(水)
午後2時07分 ～ 午後3時55分

第2 出席者 五葉委員長、佐伯委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長
総務課長

第3 議事の概要

1 佐伯委員説示

先日、八幡浜警察署協議会に出席しましたが、特殊詐欺被害をコンビニエンスストアや郵便局の方が未然に防いだことなどにより被害が0件であったお話を聴き、地域の持つ力に感銘を受けました。また、八幡浜警察署管内の嘱託犬である臭気選別犬と、セラピー犬を目の前で見せていただきましたが、臭気選別は一発で成功し、セラピー犬は犯罪被害者やそのご家族と散歩やふれあいを通して癒しの効果があることを体感しました。全国的にも珍しい愛媛県独自の取組ということですが、嘱託犬を飼われている方のご努力に使命感、責任感、誇りを感じ、本当にありがたいことだと思いました。

さて、本年3月28日の国家公安委員長のパブリックコメントにおいて、ストーカー規制法に基づく禁止命令の件数が過去最多となり、特にDV事案の相談件数、児童虐待の通告児童数や検挙が最多になったというお話がありました。非常に心が痛む内容でしたが、このコメントを見てマキャベリの「君主論」の一説である「人間は恐れている人より愛情をかけてくれる人を容赦なく傷つけるものである」という言葉とともに、DV等の様子が頭に浮かび上がってきました。

DV被害等の痛ましい事件を聞く度に、私はこの言葉を否定する社会を警察によって実現してほしいと願わずにはられません。県警察の皆さんには、県民が安心して暮らせる社会の実現に向けて引き続き頑張っていたきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和6年第15回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 警察署協議会委員欠員補充候補者の決定

総務室から、警察署協議会委員欠員補充候補者の決定について伺いがあり了承した。

(3) 公安委員会宛て苦情の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。

(4) 禁止命令等実施報告

- 生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。
- (5) 公安委員会指定医の指定更新
生活安全部から、公安委員会指定医の指定更新について伺いがあり了承した。
- (6) 放置違反金納付命令の審査請求に係る裁決
交通部から、放置違反金納付命令の審査請求に係る裁決について伺いがあり了承した。
- (7) 運転免許停止処分の審査請求に係る裁決
交通部から、運転免許停止処分の審査請求に係る裁決について伺いがあり了承した。
- (8) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、21件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

3 報告事項

- (1) 第26回愛媛県ネットワーク防犯連絡協議会総会の開催
生活安全部長から、第26回愛媛県ネットワーク防犯連絡協議会総会の開催について報告があった。
委員から、「サイバーセキュリティの問題は複雑で、特に高齢者にとってはあまり馴染みがなく理解しにくい分野であることから、リーフレット、川柳、動画によって分かりやすく広報啓発することは良いことだと思う。今後も工夫して取り組んでいただきたい」との発言があった。
委員から、「官民連携した取組で、加盟する市町も増えており、素晴らしい。高校生等を対象とした川柳や動画コンクールは、サイバーセキュリティに関する意識を高め、知識を深める良い機会になると思うので、県警察の強力な支援により協議会のさらなる隆盛に期待したい」との発言があった。
委員から、「サイバーと聞くと苦手意識が出る年齢となってきたが、同じように苦手意識を持つ方は多いと思う。多くの企業等を巻き込み、計画的かつ定期的にサイバーセキュリティの重要性や正しい知識を呼び掛ける機会を設けると取組の幅も広がると思うので、今後も継続していただきたい」との発言があった。
- (2) 伊予郡松前町におけるベトナム人被疑者による殺人未遂事件の発生・検挙（伊予署）
刑事部長から、伊予郡松前町におけるベトナム人被疑者による殺人未遂事件の発生・検挙について報告があった。
委員から、「今後、人手不足により外国人労働者が増加し、様々なトラブルも予想されることから、受入機関等と連携するとともに、それぞれの国民性の理解に努め、適切な対応に努めていただきたい」との発言があった。
委員から、「痛ましい事件であったが、早期に犯人を逮捕することができて安心した。事件の背景に何があったのか、今後の捜査によって犯行動機等を明らかにしていただきたい」との発言があった。

委員から、「事件の全容解明に向け、取調べや裏付捜査を徹底していただきたい」との発言があった。

(3) 交通鑑識系の活動状況

交通部長から、交通鑑識系の活動状況について報告があった。

委員から、「テレビ番組で交通鑑識の特集を目にする機会はこれまでもあったが、県警察の交通鑑識の活動状況を理解し認識を深めることができた。大変な現場もあると思うが、今後の活躍に期待している」との発言があった。

委員から、「捜査能力の高さに感心した。今はドライブレコーダーや防犯カメラ映像の威力も凄いが、結局は人だと思う。これからも地道な捜査によって事件を解決し、被害者のために頑張っていたいただきたい」との発言があった。

委員から、「時代の進化に伴って捜査も発展し、客観証拠の重要性は一層高まっている。交通鑑識の活動は、わずかな痕跡から車種を特定するなど緻密な作業であるが、今後も粘り強く頑張っていたいただきたい」との発言があった。

(4) 犯罪被害給付制度の見直し

総務室から、犯罪被害給付制度の見直しについて報告があった。

(5) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(6) 交通安全施設の管理状況

交通部から、交通安全施設の管理状況について報告があった。

4 その他

なし

以 上